

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2010-528756  
(P2010-528756A)

(43) 公表日 平成22年8月26日(2010.8.26)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
<b>A 6 1 F 5/41 (2006.01)</b>	A 6 1 F 5/41	4 C 0 9 8
<b>A 6 1 N 2/08 (2006.01)</b>	A 6 1 N 1/42	B 4 C 1 0 6

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2010-511106 (P2010-511106)  
 (86) (22) 出願日 平成20年6月3日(2008.6.3)  
 (85) 翻訳文提出日 平成22年1月26日(2010.1.26)  
 (86) 国際出願番号 PCT/KR2008/003099  
 (87) 国際公開番号 W02008/150087  
 (87) 国際公開日 平成20年12月11日(2008.12.11)  
 (31) 優先権主張番号 10-2007-0054808  
 (32) 優先日 平成19年6月5日(2007.6.5)  
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(71) 出願人 509332305  
 パク, ミョン チャン  
 大韓民国 660-982 ギョンサンナムド, ジンジューシ, イヒョンードン, 9-13  
 (74) 代理人 100091683  
 弁理士 ▲吉▼川 俊雄  
 (72) 発明者 パク, ミョン チャン  
 大韓民国 660-982 ギョンサンナムド, ジンジューシ, イヒョンードン, 9-13  
 Fターム(参考) 4C098 AA05 DD23 EE03  
 4C106 AA01 BB01 CC03 DD04 EE20

最終頁に続く

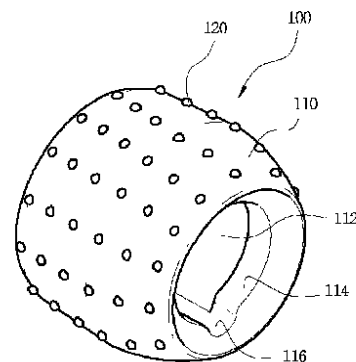
(54) 【発明の名称】 男性健康器具

(57) 【要約】

本発明は、貫通孔(112)を介してペニス(10)が挿入されるように、円筒状の安定器ポディー(110)の中心部に貫通孔(112)が形成され、前記貫通孔(112)の直径より小さい直径を有する小径部(114)が貫通孔(112)の前端部に形成されたことを特徴とするペニス勃起安定器に関する。本発明によれば、ペニス勃起安定器は、単一のポディーを備え、小径部が貫通孔の前端部に形成され、ペニスに血液が容易に供給され、ペニスから血液の流出が最大限に遅延されることができ、性交を完了するまで十分にペニスの勃起状態を維持することができる。

【選択図】 図1

[Fig. 1]



## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

貫通孔（112）を介してペニス（10）が挿入されるように、円筒状の安定器ボディー（110）の中心部に貫通孔（112）が形成され、前記貫通孔（112）の直径より小さい直径を有する小径部（114）が貫通孔（112）の前端部に形成されたことを特徴とするペニス勃起安定器。

## 【請求項 2】

前記貫通孔（112）には、中心軸の方向に延びる尿道溝（116）がさらに形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のペニス勃起安定器。

## 【請求項 3】

前記安定器ボディー（110）の外面には、外部に突出する複数の刺激突起（120）が形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のペニス勃起安定器。

## 【請求項 4】

前記安定器ボディー（110）の後部の外面には、一定の間隔をあけて滑り防止用の凹凸（122）が形成され、前記安定器ボディー（110）の前部の外面には、複数の刺激突起（120）が形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のペニス勃起安定器。

## 【請求項 5】

前記安定器ボディー（110）の外面には載置溝（111）が形成され、前記載置溝（111）には、シリコンからなり、その外面に複数の刺激突起（132）を有する円筒部材（130）が挿入されることを特徴とする請求項 1 に記載のペニス勃起安定器。

## 【請求項 6】

前記貫通孔（112）の内部には少なくとも一つの磁石（134）が埋め立てられることを特徴とする請求項 1 に記載のペニス勃起安定器。

## 【請求項 7】

前記安定器ボディー（110）の貫通孔（112）は、テーパ面（112a）を有し、このテーパ面（112a）の前端部には小径部（114）が形成されることを特徴とする請求項 1 に記載のペニス勃起安定器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本発明は、男性健康器具に係り、さらに詳細には、ペニスの基部につけて、ペニスに血液が供給されて、性交が完了するまでペニスの勃起状態を十分に維持させる一体型のペニス勃起安定器（penis erection stabilizer）に関する。

## 【背景技術】

## 【0002】

一般的に、ペニスの勃起は、神経、血管、脳下垂体ホルモンのような内分泌界が複合的に作用することで起こり、男性のペニスは、このような複合的な作用に反応するように特別な構造を有する。男性のペニスは、多くの血管を含むスポンジのような海綿体組織からなる。視覚または触覚によって性的刺激が加えられれば、ペニス内の血管が拡張して、多量の血液がペニスに供給され、これによりペニスが血圧によって拡張して勃起する。最近、男性たちは、複雑な社会環境及び過重な業務によるストレスの影響で勃起不全、早漏などが発生して、妻との円満な性交ができなくなった。

このような状況下で、円満な性交を保証するための多様な手段が従来技術に開示されている。その代表例として、リング状のペニス勃起安定器がある。

しかし、この安定器リングは、固定された直径を有するという問題点がある。この安定器リングがペニスにつけられた後、血液が動脈を通過してペニスの海綿体に供給されて拡張すれば、安定器リングは、血液が静脈を通過して流出されることを遅延させることによって、ペニスの勃起状態を持続させる。しかし、この安定器リングの圧力が単調で、ペニスの勃起状態の持続時間が短いという問題点があった。

一方、さらに他のペニス勃起安定器は、特許文献 1 に開示されている。このペニス勃起安

10

20

30

40

50

定器は、外部リングと内部リングとが覆いによって互いに連結された構造を有する。このペニス勃起安定器をつけるためには、内部リングと覆いによって連結される外部リングがペニスにつけられて、内部リングが覆いを巻きながらペニス上で回転した後、内部リングがペニスの基部に置かれる。最後に、外部リングが内部リングの周囲に配置されるように、内部リングが外部リング内に配置される。それにより、コンドームの場合と同様に、ペニス勃起安定器をつけるとき、外部リングをペニス上に着用した後、覆いを巻きながら内部リングが回転するため、ペニス勃起安定器の使用が非常に不便である。また、この覆いにペニスの周りの陰毛が挟まったりするため、傷が付く恐れがある。また、状況によって、内部リングと外部リングとが互いに重なって、ペニスがひどい圧迫を受ける場合、血液循環が悪くなることもある。

10

前記問題点を解消するために、本発明の出願人は、特許文献2でさらに他のペニス勃起安定器を開示した。このペニス勃起安定器は、中心部に形成され、かつ所定の直径を有する第1貫通孔と、ペニスの基部に隣接するようにペニスにつけられる円筒のボディーと、中心部に形成され、第1貫通孔より小径の第2貫通孔と、ペニスにつけられた円筒のボディーの次につけられるリングとを備える。このペニス勃起安定器において、血液が円筒のボディーとリングを順次を通るとき、経路の直径が次第に小さくなるため、血液がペニスに供給されるとき、ペニスを拡張させてペニスの勃起強度を高めることができる。また、ペニスから血液が静脈を通して流出されるときには、ペニス内の血液がリングを通過する間に、リングはペニスに比べて急激に小さくなった直径を有するため、血液が流出されることを遅延させることで、ペニスの勃起状態の持続時間を延ばすことができる。

20

それにもかかわらず、このペニス勃起安定器は、円筒のボディーとリングとに分離されて構成されるため、これらのうち何れか一つの部品が破損または紛失される場合、このペニス勃起安定器を適切に使用することができなかつた。また、ペニス勃起安定器は、滑らかな表面を有するため、これをペニスにつけたり分離するときには不便さがあつた。

また、ペニス勃起安定器を円筒のボディーとリングとに分離して構成したため、製造コストが上がるという問題点があつた。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】米国特許登録第6,319,194号明細書

30

【特許文献2】韓国実用新案登録第0422632号明細書

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

したがって、本発明は、前記問題点を解決するためになされたものであって、本発明の目的は、動脈を通してペニスに供給された血液が静脈を通して流出される時間を十分に遅延させることで、性交が完了するまでペニスの勃起状態を十分に維持させることができ、ペニスへの着用及び分離を容易に行うことができる一つの円筒のボディーを備えるペニス勃起安定器を提供することである。

【課題を解決するための手段】

40

【0005】

前記目的を達成するために、本発明の一実施形態によれば、貫通孔にペニスが挿入されるように、円筒状のペニス勃起安定器のボディーの中心に貫通孔が形成され、この貫通孔の直径より小さい直径を有する小径部がこの貫通孔の前端部に形成されるペニス勃起安定器が提供される。

【発明の効果】

【0006】

本発明によれば、ペニス勃起安定器が単一のボディーを備え、貫通孔112の前端部に小径部114が形成されており、血液がペニスに容易に供給され、ペニスから血液が流出されることを最大限に遅延させることができるため、性交が完了するまで十分にペニスの勃

50

起状態を維持させることができる。

さらに、ペニス勃起安定器 100 が単一のボディ 110 に形成されることによって、ペニス勃起安定器の製造が簡単になり、製造コストが低減することができる。また、複数の部品からなる従来のペニス勃起安定器に比べて、部品の紛失可能性が低い。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本発明の第1実施形態に係るペニス勃起安定器を示す斜視図である。

【図2】図1に示すペニス勃起安定器の断面図である。

【図3】図2のA-A'線による断面図である。

【図4】図1に示すペニス勃起安定器の使用状態を示す断面図である。

10

【図5】本発明の第2実施形態に係るペニス勃起安定器を示す斜視図である。

【図6】図5に示すペニス勃起安定器を示す断面図である。

【図7】図6のB-B'線による断面図である。

【図8】本発明の第3実施形態に係るペニス勃起安定器を示す断面図である。

【図9】本発明の第4実施形態に係るペニス勃起安定器を示す斜視図である。

【図10】図9に示すペニス勃起安定器を示す断面図である。

【図11】図10のC-C'線による断面図である。

【図12】図10のD-D'線による断面図である。

【図13】図9に示すペニス勃起安定器の使用状態を示す断面図である。

【図14】本発明の第5実施形態に係るペニス勃起安定器を示す斜視図である。

20

【図15】図14に示すペニス勃起安定器を示す断面図である。

【図16】図15のE-E'線による断面図である。

【図17】図14に示すペニス勃起安定器の使用状態を示す断面図である。

【図18】本発明の第6実施形態に係るペニス勃起安定器を示す断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0008】

以下、添付図面を参照して、本発明の好ましい実施形態について詳細に説明する。

図1ないし図4は、本発明の第1実施形態に係るペニス勃起安定器を示す図面であり、図5ないし図7は、本発明の第2実施形態に係るペニス勃起安定器を示す図面であり、図8は、本発明の第3実施形態に係るペニス勃起安定器を示す図面であり、図9ないし図13は、本発明の第4実施形態に係るペニス勃起安定器を示す図面であり、図14ないし図17は、本発明の第5実施形態に係るペニス勃起安定器を示す図面であり、図18は、本発明の第6実施形態に係るペニス勃起安定器を示す図面である。

30

まず、図1ないし図4に示すように、本発明の第1実施形態に係るペニス勃起安定器100は、ペニス10の外面につけられ、その中央に形成された貫通孔112を有する円筒状の安定器ボディ 110を備える。

さらに具体的に、本発明に係るペニス勃起安定器100は、円筒状をなし、ペニス10が貫通孔112に挿入されるように、貫通孔112がその中央部に形成された安定器ボディ 110を備え、この安定器ボディ 110は、20ないし25mmの長さを有し、貫通孔112は、25ないし30mmの直径を有する。

40

この貫通孔112の直径及び長さは多様なサイズに形成可能であり、この安定器ボディ 110は、人体に無害な合成樹脂、金属または玉のような多様な材質から形成されることができる。

この安定器ボディ 110が合成樹脂で射出成形される場合、ペニス勃起安定器の抗菌性を高めるために、安定器ボディ 110の外面にはナノ銀(nanosilver)が添加されるか、または純銀がコーティングされることが好ましい。

この貫通孔112の前端部には、この貫通孔112の直径より小さい直径を有する小径部114が形成される。この小径部114は、23ないし27mmの直径を有することが好ましいが、多様なサイズに形成可能である。

このような方式で、小径部114が貫通孔112の内部に突設されるため、本実施形態に

50

係るペニス勃起安定器 100 がペニス 10 につけられれば、血液が動脈をってペニス 10 に流出される場合、血液は相対的に大きい直径を有する貫通孔 112 を経て、その後小径部 114 を経てペニス 10 の海綿体組織に徐々に供給され、ペニス 10 を膨脹させることによってペニス 10 の勃起強度を高めることができる。血液がペニス 10 に供給された後、ペニス 10 の静脈にって流出される場合、血液は、ペニス 10 に比べて急激に縮小した小径部 114 を先に通過するため、血液がペニスから流出されることが妨害されて、ペニス 10 の勃起状態の持続時間が延びることになる。

安定器ポディー 110 の貫通孔 112 の前端部に小径部 114 が形成されることによって、複数の部品からなる従来のペニス勃起安定器に比べて、本実施形態に係るペニス勃起安定器 100 は、その製造が簡単であり、一部の部品の紛失による廃棄の可能性が除去されることができ

10

る。一方、安定器ポディー 110 の貫通孔 112 には、軸方向に延びる尿道溝 116 が形成され、本発明に係るペニス勃起安定器 100 をつけた際に尿道が詰まることを防止することができる。

また、前記安定器ポディー 110 の外面には刺激突起 120 が形成されており、性交を行うときに、女性の刺激を促進させる機能を行う。この刺激突起 120 は、ペニス勃起安定器 100 を着用または分離するとき、ペニス勃起安定器の滑りを防止する補助的な機能を行うことができる。

前述のように構成された本発明に係るペニス勃起安定器 100 をペニス 10 につけた状態で、性交を行いつつ男性が射精したり、疲れによって緊張感が解消される場合には、ペニス 10 の海綿体組織に供給された血液が静脈をってフィードバックされる。この場合、拡張したペニス 10 内の血液が急激に縮小した小径部 114 をまず通過せねばならないため、小径部 114 は血液がペニスを通過することを防止する機能を行って、血液が流出されることを遅延させる。これにより、ペニス 10 の勃起状態は性交を完了するまで十分に維持されることができ

20

る。一方、図 5 ないし図 7 は、本発明の第 2 実施形態に係るペニス勃起安定器 100 を示す図面である。安定器ポディー 110 の後部の外面には、一定の間隔をあけて形成された、滑りを防止するための凹凸 122 が形成されており、安定器ポディー 110 の前部の外面には複数の刺激突起 120 が形成されている。

したがって、本発明に係るペニス勃起安定器 100 をペニス 10 に着用または分離する場合には、滑りを防止するための凹凸 122 を握ることによってペニス勃起安定器を便利に使用することができ

30

る。また、図 8 は、本発明の第 3 実施形態に係るペニス勃起安定器 100 を示す図面である。安定器ポディー 110 の外面には載置溝 111 が形成されている。

この載置溝 111 には、シリコンからなる円筒部材 130 が挿入されている。このシリコンからなる円筒部材 130 の外面には、複数の刺激突起 132 が形成されている。このとき、この刺激突起 132 は、シリコンからなる円筒部材 130 に形成されるが、安定器ポディー 110 上で前方に突設されており、所定の弾性を有する刺激突起 132 によって刺激が極大化されることができ

る。前述の構成によって本発明に係るペニス勃起安定器 100 を使用した後は、安定器ポディー 110 の載置溝 111 から円筒部材 130 は分離されて、これを洗浄した後に使用することができる。

40

図 9 ないし図 13 は、本発明の第 4 実施形態に係るペニス勃起安定器 100 を示す図面である。安定器ポディー 110 の外面には、複数の滑り防止用の凹凸 122 及び刺激突起 120 が形成されている。貫通孔 112 において、安定器ポディー 110 の内面には一定の間隔で 400 ガウス以上の磁気力を有する複数の磁石 134 が埋め立てられており、円滑な血液循環を保証し、人体の新陳代謝を促進させて健康を増進させることができる。

このとき、円筒孔 112 の前端部には、二つの磁石 134 が埋め立てられており、貫通孔 112 の後方の端部には三つの磁石 134 が埋め立てられているが、必要によってさらに多いか、または少ない数の磁石 134 が安定器ポディー 110 の内面に埋め立てられるこ

50

とも可能である。

図 1 4 ないし図 1 7 は、本発明の第 5 実施形態に係るペニス勃起安定器 1 0 0 を示す図面である。安定器ポディー 1 1 0 の後部の外面には、複数の滑り防止用の凹凸 1 2 2 が形成されており、安定器ポディー 1 1 0 の前部の外面には載置溝 1 1 1 が形成されている。この載置溝 1 1 1 には、シリコンからなる円筒部材 1 3 0 が挿入されている。このシリコンからなる円筒状部材 1 3 0 の外面には、複数の刺激突起 1 3 2 が安定器ポディー 1 1 0 の前方に突設されている。一方、貫通孔 1 1 2 の内部には複数の磁石 1 3 4 が埋め立てられている。

図 1 8 は、本発明の第 6 実施形態に係るペニス勃起安定器 1 0 0 を示す図面である。安定器ポディー 1 1 0 の貫通孔 1 1 2 は、その前方に、次第に縮小する直径を有するテーパ面 1 1 2 a を形成し、このテーパ面 1 1 2 a の前端部には小径部 1 1 4 が形成される。したがって、血液がペニス 1 0 に円滑に供給されることができ、ペニス 1 0 の海綿体組織内に長期間滞留することができるため、ペニス 1 0 の勃起状態の持続時間がさらに延びることができる。

以上のように、本発明の好ましい実施形態を例示のために詳細に説明したが、当業者ならば、特許請求の範囲に開示されたような本発明の思想及び権利範囲を逸脱することなく、本発明に対して多様な変形または付加及び代替を行うことができるということが理解できるであろう。

【符号の説明】

【 0 0 0 9 】

- 1 0 ペニス
- 1 0 0 ペニス勃起安定器
- 1 1 0 安定器ポディー
- 1 1 1 載置溝
- 1 1 2 貫通孔
- 1 1 4 小径部
- 1 2 0 刺激突起
- 1 2 2 凹凸
- 1 3 0 円筒部材
- 1 3 4 磁石

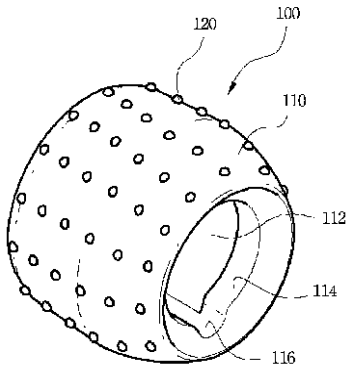
10

20

30

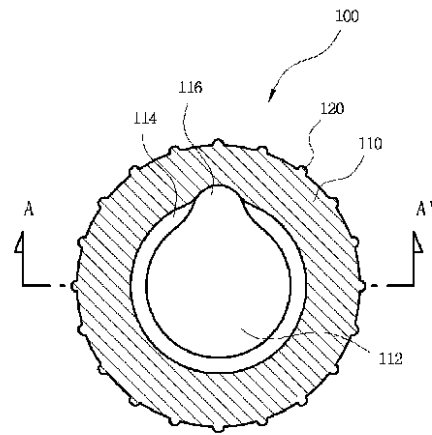
【 図 1 】

[Fig. 1]



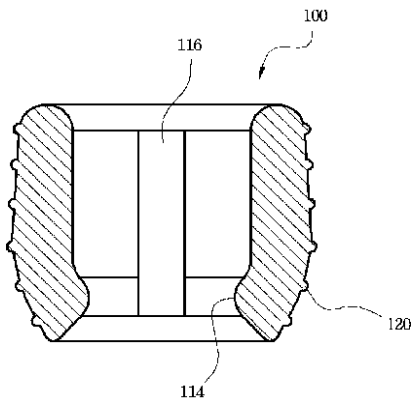
【 図 2 】

[Fig. 2]



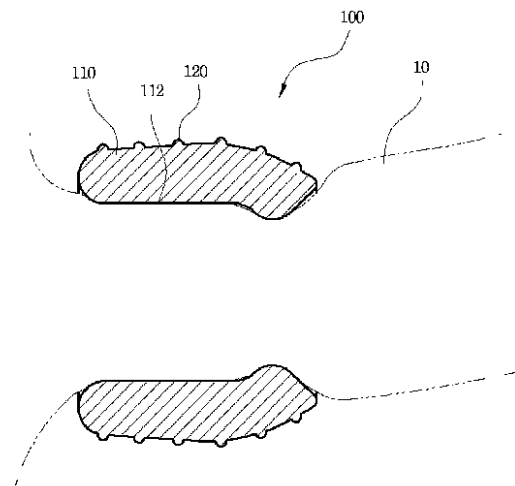
【 図 3 】

[Fig. 3]



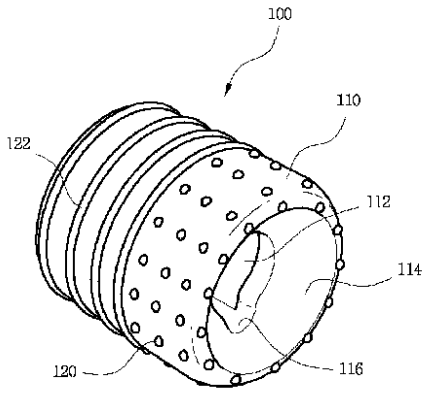
【 図 4 】

[Fig. 4]



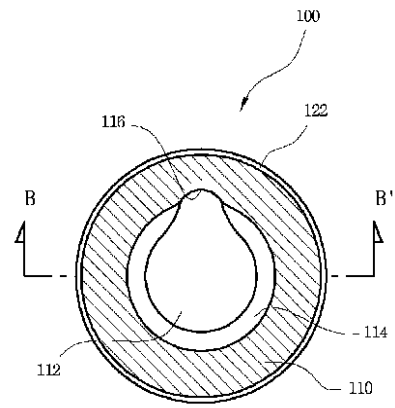
【 図 5 】

[Fig. 5]



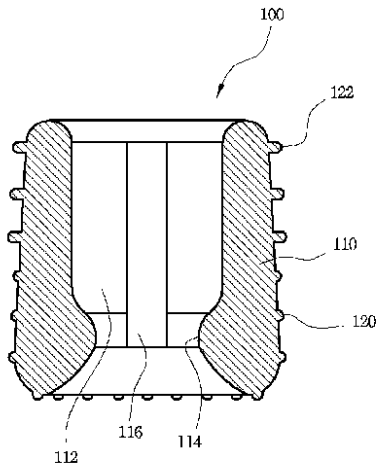
【 図 6 】

[Fig. 6]



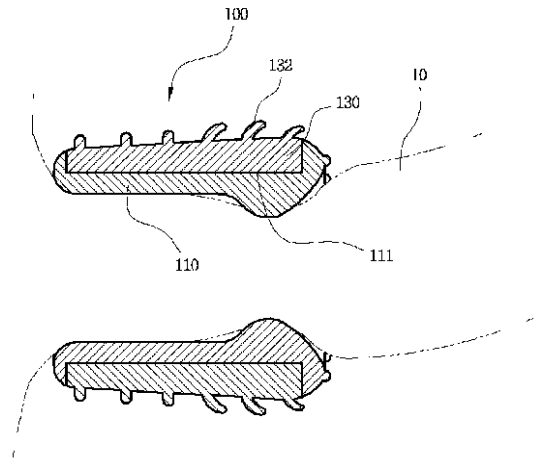
【 図 7 】

[Fig. 7]



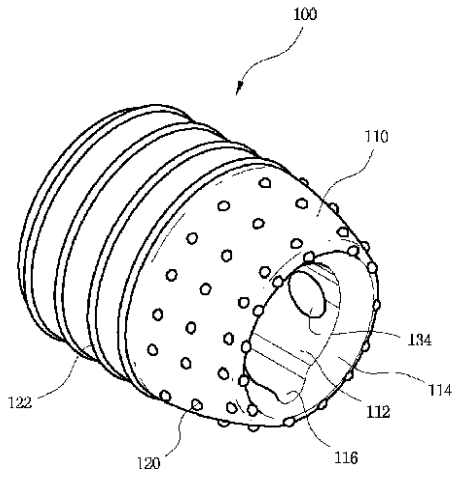
【 図 8 】

[Fig. 8]



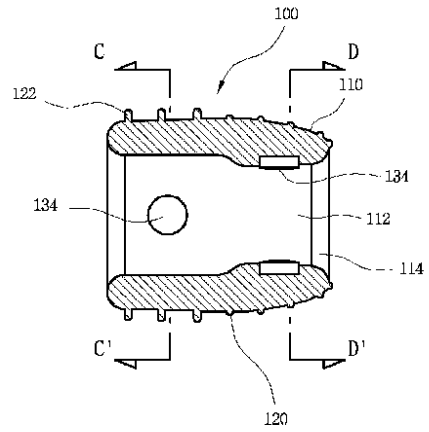
【 図 9 】

[Fig. 9]



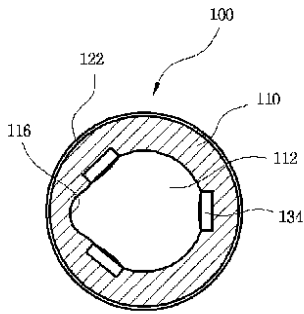
【 図 1 0 】

[Fig. 10]



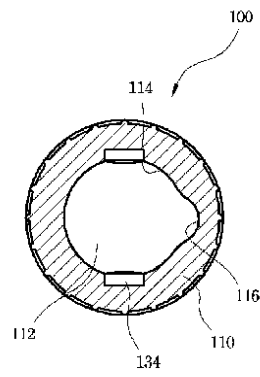
【 図 1 1 】

[Fig. 11]



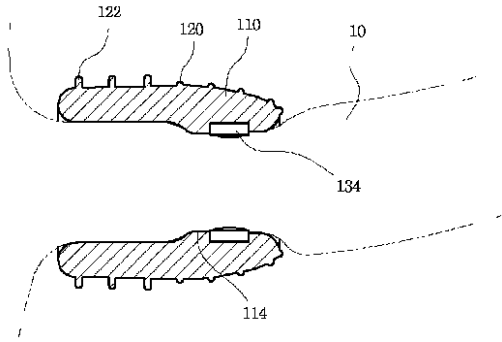
【 図 1 2 】

[Fig. 12]



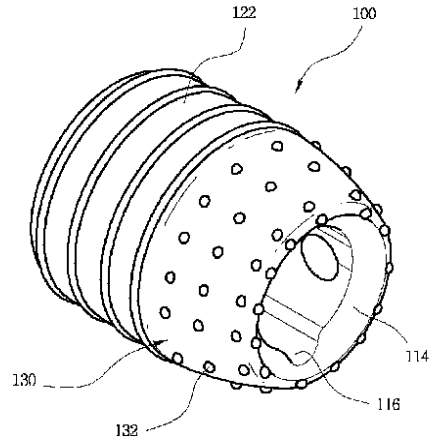
【 図 1 3 】

[Fig. 13]



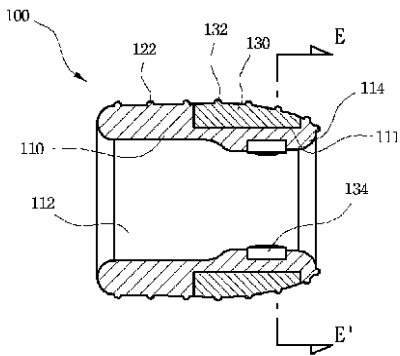
【 図 1 4 】

[Fig. 14]



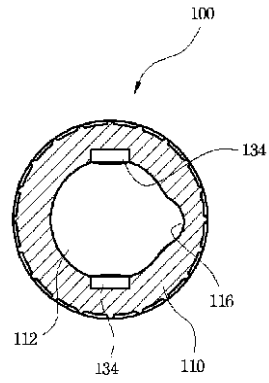
【 図 1 5 】

[Fig. 15]



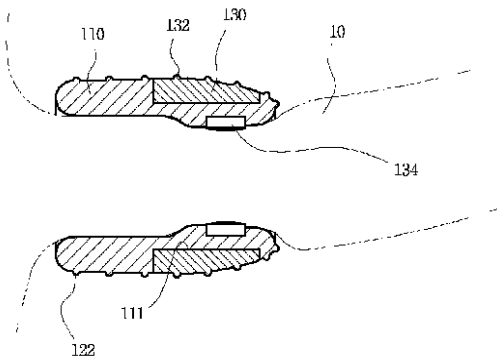
【 図 1 6 】

[Fig. 16]



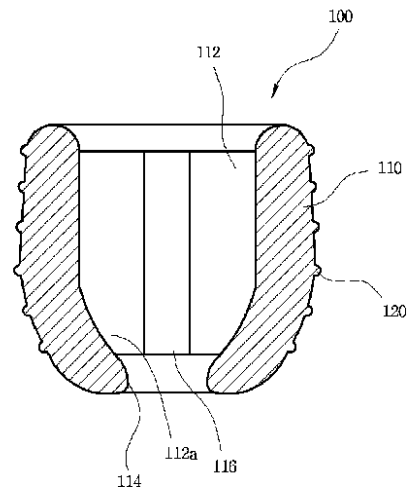
【 図 1 7 】

[Fig. 17]





【 図 1 8 】

[Fig. 18]



## 【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/KR2008/003099
<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b>		
<i>A61F 5/41(2006.01)</i>		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b>		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 8 A61F 5/41, A61F 5/42, A61H 19/00, A61F 5/00		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean utility models and applications for utility models since 1975		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKIPASS (KIPO internal) & keywords: male, penis, erection, ring and protrusion.		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 54-099397 A (HANUS, J.) 06 August 1979 See abstract, p. 3, c. 1, ll. 4-20; Figs. 2, 3.	1, 7
Y		2-4, 6
A		5
Y	KR 200417717 Y1 (MIN, K. I.) 02 June 2006 See abstract, p. 2, l. 40-p. 3, l. 10; Figs. 1a, 2.	2, 6
A		1, 3-5, 7
Y	KR 1020020043418 A (LIM, T. S.) 10 June 2002 See abstract, claim 1; Fig. 1.	3
A		1, 2, 4-7
Y	KR 201998020132 U (JANG, Y. H.) 15 July 1998 See abstract, claim 1; Fig. 1a.	4
A		1-3, 5-7
Y	US 5,306,227 A (OSBON, R. E. et al.) 26 April 1994 See abstract, c.7, ll. 18-43; Fig. 1.	2
A		1, 3-7
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 10 DECEMBER 2008 (10.12.2008)		Date of mailing of the international search report <b>10 DECEMBER 2008 (10.12.2008)</b>
Name and mailing address of the ISA/KR  Korean Intellectual Property Office Government Complex-Daejeon, 139 Seonsa-ro, Seo-gu, Daejeon 302-701, Republic of Korea Facsimile No. 82-42-472-7140		Authorized officer KIM Sang Woo Telephone No. 82-42-481-8384 

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**  
Information on patent family members

International application No.

**PCT/KR2008/003099**

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
JP 54-099397 A	06.08.1979	CH 623478 A5 DE 2861059 D1 EP 0002169 A1	15.06.1981 26.11.1981 30.05.1979
KR 200417717 Y1	02.06.2006	None	
KR 1020020043418 A	10.06.2002	None	
KR 201998020132 U	15.07.1998	None	
US 5306227 A	26.04.1994	US 5244453 A	14.09.1993

---

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, SV, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW